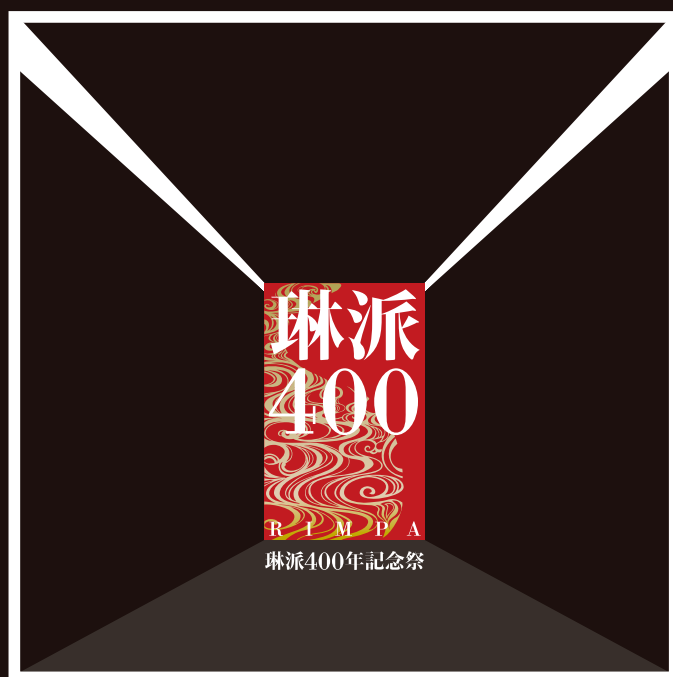


駅ナカアートプロジェクト EKINAKA ART PROJECT



2015

Kyoto City Subway

事業概要

「学・産・官」が連携し、大学生のアート作品で地下鉄駅構内を活性化する。

実施目的

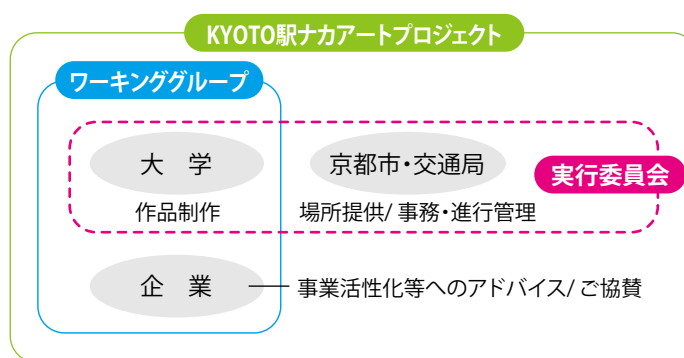
- 人口140万人の大都市であり、年間5千万人の観光客が訪れる国際観光都市でもある京都。
その重要な都市装置である「京都市営地下鉄」の「駅」のイメージアップを図り、地下鉄を魅力的なものとして活性化することで、活力ある京都のまちづくりに寄与すること。
- “大学のまち京都”ならではの取組として、芸術系大学の学生が中心となったアート作品の展開により、世界に誇る「文化芸術都市京都」確立への一助となること。
- 本事業を通じた「学・産・官」三者の連携・交流により、学生に対し、未来の京都を支える人材への成長の機会を提供すること。

実施駅及び参加大学

【大学名 五十音順】

京都教育大学		烏丸線	くいな橋駅
京都工芸繊維大学		烏丸線	松ヶ崎駅
京都嵯峨芸術大学		東西線	太秦天神川駅
＋パリ国立高等美術学校		東西線	京都市役所前駅
京都女子大学		烏丸線	五条駅
京都市立芸術大学		東西線	二条城前駅
京都精華大学		烏丸線	国際会館駅
京都造形芸術大学		東西線	東山駅
京都橘大学		東西線	栂辻駅
京都府立大学		烏丸線	北大路駅

事業体制のイメージ



作品のテーマ

「現代の琳派」

琳派とは

琳派 [りんぱ] [Rimpa]

琳派(りんぱ)とは、桃山時代後期に興った美術・工芸の様式で、本阿弥光悦と俵屋宗達にはじまり、尾形光琳・尾形乾山兄弟によって大成され、酒井抱一・鈴木其一が定着させました。家系による継承ではなく、個人的に断続的に継承され、同じような主題や図様、独特の技法が意識的に用いられています。狩野派など他の江戸時代の流派は、模写を通じて直接、師から画技を学んだのに対し、琳派では、時間や場所、身分など遠く離れた人々によって受け継がれています。大和絵の伝統を基盤としていて、題材は花木・草花が多く、鮮麗な色彩や金銀箔の背景、大胆な構図など装飾的な画風・豊かなデザイン性が特徴です。

実行委員会メンバー(平成26年12月22日設立当初)

【大学名・局名 五十音順:敬称略】

京都教育大学	准教授	丹下裕史
京都工芸繊維大学	教授	山本建太郎
京都嵯峨芸術大学	准教授	山本直樹
京都女子大学	准教授	江口淑子
京都市立芸術大学	教授	藤本英子
京都精華大学	准教授	中川裕孝
京都造形芸術大学	准教授	都築 潤
京都橘大学	准教授	河野良平
京都府立大学	教授	三橋俊雄
京都市交通局	高速鉄道部担当部長	土田 稔
京都市文化市民局	文化芸術都市推進室長	森川佳昭

ワーキンググループメンバー

【大学名・企業名 五十音順:敬称略】

京都教育大学	准教授	丹下裕史
京都工芸繊維大学	教授	山本建太郎
京都嵯峨芸術大学	准教授	山本直樹
京都女子大学	准教授	江口淑子
京都市立芸術大学	教授	藤本英子
京都精華大学	准教授	中川裕孝
京都造形芸術大学	准教授	都築 潤
京都橘大学	准教授	河野良平
京都府立大学	教授	三橋俊雄
株式会社インダ		
オムロン株式会社		
株式会社サンエムカラー		
株式会社ジイケイ京都		
株式会社島津製作所		
株式会社堀場製作所		
村田機械株式会社		

KYOTO 駅ナカアートプロジェクト 2015 中間報告・交流会

日 時：平成 27 年 2 月 5 日（木）13 時～15 時 30 分

場 所：株式会社ジイケイ 京都内会議室

参加者：参加 9 大学・協賛企業

「KYOTO 駅ナカアートプロジェクト 2015」の参加大学 9 校がこの日、初めて一堂に会しました。ここでは、この事業にご協力いただいている企業の皆様の前で各大学の学生たちが、各々の作品について思い思いの構想を語り、お互いに意見や率直な感想を述べ合うことで交流を行いました。



KYOTO 駅ナカアートプロジェクト 2015 感謝状贈呈式&ジョイントミーティング

日 時：平成 27 年 3 月 7 日（土）12 時～15 時 30 分

場 所：ゼスト御池 河原町広場

参加者：参加 10 大学・協賛企業

京都の「大学」と「企業」と「行政」が一体となって取り組む様子をより多くの方々にご覧いただけるよう、広場でのオープン形式で「感謝状贈呈式」と「ジョイントミーティング」を開催しました。感謝状贈呈式では、門川京都市長から作品制作に当たった各大学の学生達にそれぞれ感謝状が手渡しされ、ジョイントミーティングでは、学生達が作品説明のプレゼンテーションを行い、各企業からご意見をいただくことができました。



制作風景

今年度の作品テーマ「現代の琳派」について学生達が各々の感性に基づき相談、検討を重ね、一つひとつの作品を創り上げていきました。また、今シーズンは京都嵯峨芸術大学のご協力のもと、遠くフランスの地から「エコール・デ・ボザール(パリ国立高等美術学校)」の学生達が来日され、嵯峨芸術大学との共同でご参加いただきました。更に、新たに市バス車両にも対象を拡大し、京都造形芸術大学の学生達に「市バスアート」を制作いただきました。



作品名 うつろう空 400 年前、琳派の人々も見上げた？空

制作者 | 内藤紫帆 / 木村歩美 / 山下華鈴 / 上田真由
指導教員 | 中川裕孝 / 須川武博
協力 | 和歌山染工株式会社 / ダイワボウノイ株式会社



コンセプト 一癒しの空間を作るー

私たちは琳派から目が覚めるような新しさと日本独自の美意識を現代のデザインへ取り入れ、継承しようとしています。琳派の作品の数々から、描かれた自然物の持つ時の流れやうつろい、間を意識した空間構成から静けさを感じました。400 年前と変わらずにうつろう京都の空をモチーフに、静かな空の風景を駅構内に提示し、駅利用者に安らぎと癒しを感じていただきたいと思います。

制作プロセス 一空の写真をとることからー

- ミーティングで決定した安らぎのある空間を作るため、メンバー各自が京都各地に出向き、空の写真約 500 枚を撮影しました。
- 各々が撮影した写真をトリミングし、京都の名所や伝統ある建物の先端だけを切り取り加工して、空に建物の一部分を少し取り入れることで琳派の作品から感じ取った空間表現を意識しています。
- イメージスケッチをもとに時間によって変わる空の色を構成し、グラデーションをすることにより一日の時間経過を表現しました。画面の中に現れる白い筋は地平線をイメージしたものです。
- 1.6m × 9m の画面の中には 2000 枚に及ぶ写真を使用、60 番手の綿サテンの布に、最先端の機材を使ったインクジェットプリントで印刷されています。

松ヶ崎駅

京都工芸繊維大学

作品名 琳派の道

制作者 | 松井正明 / 松宮一樹 / 中野圭 / 谷口あすみ / 高岸佑樹 / Pitumon Haewsungcharern
尾崎由紀 / 李寿元 / 小谷朱音 / 桑添華奈 / 芦田純 / 矢島健
指導教員 | 西村雅信



いつも通り、地下鉄に乗ろうと駅を歩いていると、
周りをお餅のような犬たちや、嬉しそうに舞っている陽気な人々、四季折々の草花に囲まれた。
気がつけば、いつの間にか琳派の世界に紛れ込んでいた—

松ヶ崎駅の通路を歩くことで自分が琳派の一部になる、体験型アート作品。
美しく、かわいく、どこか不気味でかっこいい。
そんな琳派の持つ多様な魅力を体感してください。

※鏡によって鑑賞者が琳派の図案に挟まれ、琳派の世界に入り込む事ができる仕掛けの作品です。
鏡のタイル側を見ながら作品の前を歩いて楽しんでください。

作品名 伝統とうつろう美

制作者 | 斉藤千容 / 陳譽云 / 林依蓉 / 河原林圭子 / 中道雅志 / 林康琦
指導教員 | 三橋俊雄

から衣 きつつなれにし つましあれば はるばる来ぬる たびをしぞ思ふ

「伊勢物語」第九段の東下り、燕子花の名所八ツ橋で詠まれた和歌です。「伊勢物語」には平城京から平安京の時代に移ろう中で、没落する貴族の悲哀が描かれています。平城京派の敗北の歴史、寂れた土地、その中にあっても心を上品に保ち、雅（みやび）を支えに生きる貴族の姿は、まぎれもない「美」なのです。

冒頭の和歌を主題として描かれたのが、尾形光琳の「燕子花図屏風」です。尾形光琳は、十七世紀初めに依屋宗達などが興した琳派という斬新なデザイン感覚による新しい美を継承し、意匠美として完成させました。

そこで伝統とうつろう美を主題に、西陣織のうつろう美＝雅を表現しました。

作品名 京都標高グラフ

制作者 | 太田奨吾 / 大塚響子 / 矢野奏子
指導教員 | 河西立雄

日々何気なく利用している地下鉄。実は国際会館駅と竹田駅では標高差が80mもあることを知っていますか？
これほどの標高差を数分で移動していても誰もそのことを意識しません。
それを意識しないのは 目に見えないものだから ではないでしょうか。
そこで私たちは地下鉄の標高をグラフで表すことで一目で分かるようにしました。
このグラフはみなさんに何か新しい発見をもたらすかもしれません。

五条駅

京都女子大学

作品名 りんぱ ずう

制作者 | 松山亜未 / 大志万美和子 / 小野雅世 / 掛下志保 / 加藤千晶
杉田千波 / 田中亚美 / 田中慈 / 古屋朱理
指導教員 | 江口淑子



琳派の描いた動物や植物は、愛くるしいものが多数あります。私たちは琳派の中にある「モダンなかわいさ」に焦点を当て、地下鉄を利用する方に楽しい気持ちでみていただけるような作品を制作しました。

5本の円柱を樹に見立て、大胆な構図で、植物と動物を組み合わせ、鳥が木になっていたり、近づいてみるとわかる模様があったりします。ぜひ、いろいろな角度から5本の柱をみていただければと思います。

(中段左から)
「猿と竹」「鶴と椿」「金魚と蓮」
(下段左から)
「孔雀と桜」「鶏と鶏頭」

作品名 めぐる想い

制作者 | 佐藤史菜
指導教員 | 丹下裕史



日々の暮らしの中で感じる様々な想いや感情を形にする。粘土を練る、握る、指のはらで伸ばしてゆく、穴を開ける。指先からぼこぼこ生まれるかたちは「わたし」を確認する行為となっています。

今回は学生時代を過ごした京都に想いを馳せ形を作りました。また、今年のテーマである琳派の力強さ、荘厳さ、暖かさ、かわいらしさや、ユニークさも合わせ持つ、魅力に引き込まれながら形や時の流れを意識した作品をつくりました。

作品名 LINE-imageR-

制作者 | 柴田大介
指導教員 | 小林良子



琳派の代表的作家である尾形光琳の作品をベースに描いた。波板トタンを支持体に、油絵具で着彩した作品である。線上にある琳派のイメージを感じてほしい。

作品名 どこにもない森

制作者 | 和田香世 指導教員 | 岩村伸一



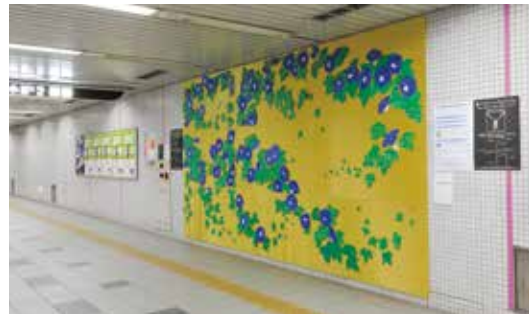
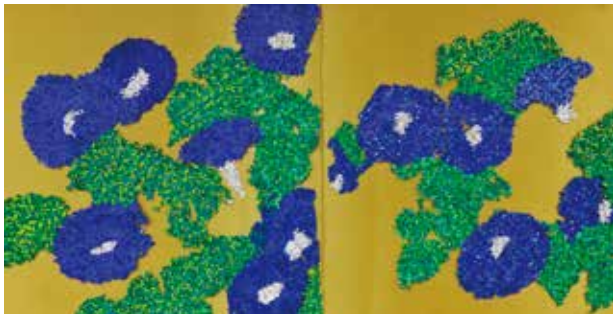
アルミの金属板に、油絵具で絵を描きました。植物の図像を、筆跡によって追いかけます。けれども素材を介して、自分の手を介して結局辿りつくのは、実在する場所や、実在する植物とは断絶されたものでしょう。これらの四角い画面が、懐かしい場所、けれどももうどこにもない場所を示してくれたらと思います。そしてこのどこにもない森が、通りかかった誰かにとっても、心地の良い場所であれば、それは幸いなことでしょう。

柳 辻 駅

京都橘大学

作品名 朝顔 B' 珠屏風（あさがおビーズびょうぶ）

制作者 | 櫛間祐太（リーダー） / 糸井川友香 / 濱美幸
梅本恭裕 / 細田宏幸 / 桑田和香 他
指導教員 | 河野良平



この作品は琳派の代表的な作品「朝顔図屏風」をもとに、その構図や色彩を参考にしつつ、ビーズという現代的な素材を使うことで伝統と現代の融合を試みたものです。また本学がもともと手芸学校からスタートしたことに着想を得ています。

作品名 「色は匂えど散りぬるを」美しく咲いている花もいつかは散ってしまう

制作者 | 海江田凧砂 / 波多野眞理 / 東元綾香 / 柳原千遥
指導教員 | 都築潤



「風神雷神図」で有名な俵屋宗達には生命の儚さや時の移ろいを表現した作品があります。
我々も儚いものに美しさを感じます。京都の府花であるしだれ桜でその儚さを感じてください。
そして桜（リボン）が散る様子や桜の変化をお楽しみください。

京都市役所前駅

京都嵯峨芸術大学

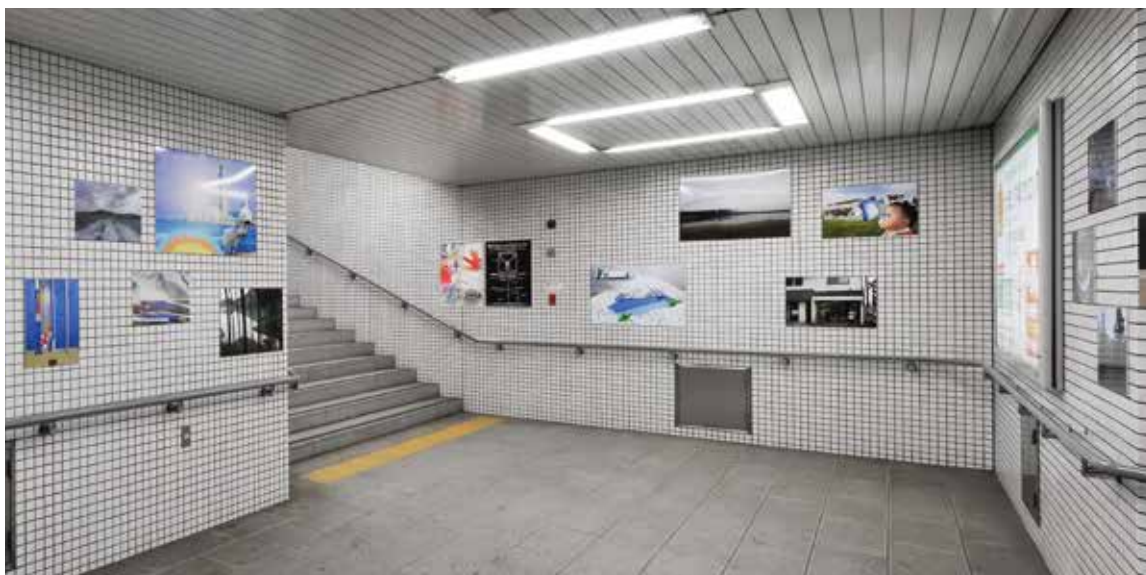
エコール・デ・ボザール（パリ国立高等美術学校）

作品名 誰かの記憶

制作者 | 石本太一 / 中西圭太 / Fanny Alizon / Diane Rabreau / Morane Joanin / Elyssa Smiri



みなさんは嗅覚と記憶の関係性を知っているでしょうか？
ある香りをかいで、それを例えば「ショートケーキ」という人がいる一方、「洋菓子屋の香り」という人もいるように、単にその香りのものを思い出すのに加えて、その香りを取り巻く情景をも思い巡らしたことはないでしょうか。もし何もない空間の空気から想像をめぐらしたら…。もしかすると、そのとき思い出された記憶や想像はその場所とは直接関係ないかもしれませんが。しかし、空気の中にはそのイメージを思い出すきっかけがあったのだと私たちは考えます。
目には見えないけれど、そこには誰かの記憶や想像が実は漂っているのかも知れません。



作品名 カリフラワー列島

制作者 | 野中梓 / 木暮愛季 / 芦沢博稔 / 大平千聖
Jules Lesbegueris / Morane Joanin / Jeanson Pechin / Ines Day



私たちのグループでは木製ボードを切り抜いた、日本列島の様々なかたちを選びました。そしてインクの入った緩衝材で好きなようにスタンプしました。



指導教員（全作品） | 岩崎陽子 / 山本直樹 / 川保正 / Gérard Delangle

作品名 「白い京」 — 現代の琳派

制作者 | 王歆怡
指導教員 | 堀口豊太 / 藤本英子 / 川畑公人



今ある京都の自然の姿を観察して、立体的な壁飾りを作りました。花鳥を題材にして、琳派の作風を受け継ぐ気持で制作しました。背景には金箔を表す色の絵画的な画面がありますが、工芸的な工夫によって白い布を立体的に使い、全体としては現代の琳派を目指しました。緻密な細部と明快な色によって、特殊な視覚効果が生まれるように試みました。

作品名 Closed Circuit

制作者 | Elliott Causse

この作品は香りに影響されて制作した。赤と白の2つのパイプによってつながっている2つの香りの入った箱がある。このパイプはすべて最初から終わりまで向かう先は同じパイプである。鑑賞者は穴の中の2つの香りに誘われて金属の不思議な香りを嗅ぐ。それからその鑑賞者はパイプを最後まで辿って行こうとするが、これはもう一方の箱に行くことになり、もう一つの方のパイプを伝っても元の箱に戻ってくる。私は連通管原理の考えが気に入っている。私たちはバランスをとって循環する液体やガスなら容易に想像できるだろう。この作品は不思議な錬金術マシンであり、鑑賞者の陰謀にだけ加担してくれるのである。



作品名 sample

制作者 | Morgane Joanin

私はこのインスタレーション作品を駅ナカの殺菌消毒されたような場所に、自然のサンプルとして持ち込みたいと思って作りました。木は日本の伝統の一部です。ですから私はこの木という素材と、駅ナカの白っぽさや現代的なところを対比したいと思いました。



作品名 マドレーヌのかげら

制作者 | Elsa Marc/Clédia Fourniau/ 梅津順一 / 大勝詩織 / 今井桜子 / 海田詩織

嗅覚は、私たちの中で記憶と感受性、そして自己と他者がつくり出される際に、本質的に重要な役割を果たしています。記憶と意識をつなぐのにもっともよい方法の一つは嗅覚なのです。フランスで書かれた有名なマルセル・プルーストの小説『失われた時を求めて』でも、特にマドレーヌのくぐりでは、嗅覚と味覚が過去を思い出させるのが印象的です。物語の書き手は幼少時に叔母から与えられたマドレーヌを紅茶に浸して食べたと述べます。彼は大きくなってからも同じように紅茶に浸したマドレーヌを食べると、子供の頃が生き生きと思い出されるということに気づきます。「マドレーヌのかげら」プロジェクトでは、展示されているすべての写真によって、京都の地下鉄にいる人たちが自分たちの過去へ連れ戻されるかどうかという実験をご提案してみたいと思っています。



作品名 紅白梅図 — Bourgeons de fleur de prunier —

制作者 | 平原美紗子 / 西脇恵 / 瀬野良介 / 高尾みなみ
可児葉月 / 鹿野真帆 / 下間優子 / 竹内智子 / Elliott Causse / Noémie Lettoli



梅は、桜よりも開花が早く、咲き方も種類によってさまざま。この作品では、様々な色の梅のつぼみが徐々に増えてゆき、その芳しい香りが、階段の下から吹き上げる風とともに、運ばれてきます。地下鉄の外で少しずつ膨らんでゆく花のつぼみがある一方、毎日地下鉄の中で、皆さんに見守られながら育っていく梅のつぼみたち。この地下鉄に咲く梅も、皆さんをお見送りしています。

指導教員（全作品） | 岩崎陽子 / 山本直樹 / 川俣正 / Gérard Delangle
協賛 | 株式会社松栄堂 / 高砂香料工業株式会社

作品名 儚い

制作者 | 海江田風砂 / 波多野真理 / 東元綾香 / 柳原千遥
指導教員 | 都築潤

作品コンセプト ～儚さ～

日本人は昔から儚いものを美しいと感じる美意識をもっています。また、琳派、特に俵屋宗達の作品には、死と再生の輪廻や無常観を表したものが多くあります。このことから私たちは「儚さ」を作品のテーマとしました。

古くから日本人が愛してやまない花である「桜」を、日本の伝統文化として親しまれてきた折紙でかたち作る過程を通して「儚さ」を表現しています。

そして、色えんぴつやクッキーなどのモチーフは車内空間に散りばめられた桜たちを間接的に指し示し、全体としての一体感や流れを持たせました。また、私たちの身近にあるアイテムを用いることで、車内に優しい雰囲気が溢れる空間を作りました。

はかりしれない技術を、世界へ。



New Printing Industry



Design and Planning



新たな技術の創造で豊かな社会を実現する



これまでの軌跡

- ◆ 平成23年度
国際会館駅・松ヶ崎駅・北大路駅の3駅で実施
(参加大学) 京都工芸繊維大学・京都精華大学・京都府立大学
- ◆ 平成24年度
国際会館駅・松ヶ崎駅・北大路駅・くいな橋駅・石田駅・柳辻駅・東山駅
二条城前駅・太秦天神川駅の9駅で実施
(参加大学) 京都教育大学・京都工芸繊維大学・京都嵯峨芸術大学・京都女子大学
京都市立芸術大学・京都精華大学・京都造形芸術大学・京都橘大学・京都府立大学
- ◆ 平成25年度
実行委員会を設立しての運営開始
- ◆ 平成26年度
エコール・デ・ボザール(パリ国立高等美術学校)が参加し、京都嵯峨芸術大学と
作品を共同制作。
市バスアートを京都造形芸術大学が担当・実施。
照明の設置。(北大路駅・二条城前駅)
キーワードラリー及びアンケートの実施。(オリジナルエコバッグのプレゼント)

後援



主催: KYOTO駅ナカアートプロジェクト実行委員会(構成団体: 参加9大学、京都市交通局、京都市文化市民局)

後援: 京都商工会議所/琳派400年記念祭委員会

※50音順

協賛: 株式会社イシダ/オムロン株式会社/株式会社サンエムカラー/株式会社GK京都/株式会社島津製作所/株式会社堀場製作所/村田機械株式会社

「駅ナカアートプロジェクト」に関するお問い合わせ先: 京都市交通局高速鉄道部営業課 075-863-5218 (平日 8:45~17:30)